

！！異常気象を乗り越えてさらなる会の発展を！！

支部長 松木 茂夫



松木支部長

今年の夏は、気象庁が1898年から統計を取り始めてから、過去2番目に暑い夏・猛暑・酷暑となりました。そして秋がなく夏から冬の到来でした。このような異常気象は諸説ありますが地球温暖化等が原因と考えられています。皆様お元気に乗り越えました

でしょうか！！

さて、今年の元日に発生した石川県能登半島で最大震度7.6の大地震により、甚大な被害を受けた奥能登地域に、さらに、9月21日発生した線状降水帯による集中豪雨により、被災されました方々の皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日でも早い復興をお祈り申し上げます。

※岩淵義昭現副支部長（前事務局長）がご逝去されました。（2024年9月23日未明）

川崎白門会を代表してご挨拶申し上げます。

ご逝去の報に接し、心からお悔やみ申し上げます。故人との語りつくせない思い出で胸がいっぱいです。ご生前のご厚情に深く感謝いたしますと

ともに、安らかにご永眠されますよう、遠くから手を合わせて、ご冥福をお祈りしております。

故岩淵義昭氏は、当白門会開設以来事務局を一手に引き受けて頂きました。また、神奈川県下合同白門会の設立にも大きく貢献して頂きました。岩淵氏の努力の結果が今日まで継続しています。さらに、五代にわたる支部長に事務局として使え、その力量を大いに発揮して頂き会発展の要として活躍して頂きました。会員一同心から感謝を申し上げ、永久のご冥福をお祈りしております。合掌

！！デジタル化を試み！！

8月からアナログ手法からデジタル形式に変更する試みを開始しました。

10月からの郵便料金値上げも考慮し通信費などの節減と事務局の負担軽減を図ることが目的。

役員会の皆様にはメールアドレス登録をお願いしています。当面は一部郵送も併用しています。いずれ会員の皆様方にも拡大していく予定です

役員会・支部行事等の案内状・出欠回答は「調整さん」を利用しペーパーレス化を図る。是非お試ししてください。

（2面に続く）

！！ 年末懇親会(忘年会)・開催の予告・皆さん奮ってご参加下さい ！！

2024年12月14日（土）15時～ 武蔵小杉「精養軒」にて、年忘れ大忘年会と題し盛大に開催する予定です。会員の皆様には奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

開催要領は下記のとおりです。

記

開催日 2024年12月14日（土）
15時開始（受付14時30分～）

会場 武蔵小杉「ホテル精養軒」

川崎市中原区小杉町3-10

TEL 044-711-8855

会費 6,000円（料理・飲物）

※ プレゼント交換品物（@1000円相当）持参願います

：お馴染みになったプレゼント交換会は一龍齋貞奈講師が司会進行をします。

※ 講演会開催

：恒例となりました一龍齋貞奈講師の講演を予定、演目は師走につき乞ご待！！

中大の後輩・2009年卒（二つ目2022年4月昇進・当白門会幹事2024年9月就任）

：一龍齋貞奈講師のプロフィールは当川崎白門会支部のホームページの一面トップに掲載してあります、是非ご一読ください。。



一龍齋貞奈講談師プロフィール

中大の後輩・2009年卒（二つ目2022年4月昇進・当白門会幹事2024年9月就任）

：一龍齋貞奈講談師のプロフィールは当川崎白門会支部のホームページの一面トップに掲載してあります、是非ご一読ください。！！年末懇親会（忘年会）・開催の予告・皆さん奮ってご参加下さい！！

（1面より続く）

※「調整さん」は日程調整や出欠確認ができる無料のWebサービス：ログイン不要

・スマホ・パソコン・タブレット・ガラケー等端末は気にする必要はない。操作はシンプルで簡単

役員会の議案書はプロジェクターによるディスプレイを利用しペーパーレス化を図る。（議案書・議事録を兼ねる）

！！会報のアウトソーシング化を図る！！

現在森山相談役に会報の企画・レイアウト等お願いしていますが事務負担などを考慮し、現在印刷を依頼している印刷会社（株式会社エリア）にアウトソーシングを予定しています。

※原稿集めが最大の課題です。今後共会員皆様方の積極的な原稿の寄稿をお願い致します。お手伝い頂ける方は是非申し出ください。

ウイズコロナとして新型コロナと共に生きていくことに生活感が大きく変わりましたが、一方で再開した支部活動の参加者がコロナ前よりも少ない事はコロナ禍に於ける影響が大きかったと思います。今年からは全員一致協力して行事への参加者を増やし、又、新規会員の増強に努めたいと存じます。ご協力をお願いします。

岩淵義昭氏は2024年9月23日 ご逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げますと共ににご冥福を心よりお祈り申し上げます。

岩淵義昭氏は学会本部から長年の功績を称え表彰されるなど川崎白門会支部発展のため川崎白門会支部早々の時から事務局を担いご尽力を頂きました。次ページ掲載の「本事務局長退任挨拶」文は2024年7月26日にお元気な時に投稿頂きました。なお葬儀は家族葬で行われ、「学会の皆様から丁寧な激励、励ましの言葉を頂き感謝申し上げます」と

幹事長 安岡 博文

中央大学「川崎白門会支部 かわさきと共に歩む川崎白門会」を支援します（卒年順に掲載）

<p>アイコンテクノ（株） （町田市森野1-37-10） 代表取締役会長 金子 和夫 （昭和34年卒）</p>	<p>不動産賃貸業 NPO法人ピーン理事 千葉 五郎（昭和34年卒） 川崎市宮前区鷺沼2-2-8</p>	<p>東京エクセル法律事務所 弁護士 石渡 光一 （昭和36年卒） 電話03-3503-0921</p>
<p>公認会計士・税理士 大里 慶三 （昭和38年卒） 川崎市幸区南幸町2-20-202</p>	<p>有限会社ピーン （東京都港区芝大門2-1-18） 取締役 森山 功 （昭和40年卒）</p>	<p>光洋重機建設（株） （川崎区田島町13-13） 代表取締役会長 光常 武二 （昭和43年卒）</p>

事務局長退任について！！



事務局長 岩淵 義昭

前事務局長岩淵義昭です。平成19年度より当支部の事務局を携わってまいりましたが高齢化と健康面から、今年の6月8日（土）の支部総会等をもって退任いたしました。

後任者は吉村猛彦氏に決まりました。2代目支部長菅原進氏や幹事長 伊奈忍氏、小山稀世氏、3代目金子和夫支部長、幹事長森山功氏、4代目森山功支部長、幹事長松木茂夫氏、5代目松木茂夫氏、幹事長安岡博文氏と共に20年近く事務局を支えてまいりました。

木下支部長時代に事務引継が2年ほど遅れ、会員郵送

費に困りましたが、伊奈幹事長より20万円融資をして頂き、少しずつ返済し金子支部長に引継し残金を返納して運転資金が少しずつ蓄えることが出来ました。したがって、神奈川県下の人々とのお付き合いができるようにもなりました。

横浜支部の菊田和行氏と共に、県下合同白門会を立ち上げ、持ち回りで行うことができました。

当支部もコロナの影響で支部総会が開催出来ない年もありましたが、皆さんからの会費収入が保存され、ようやく他の支部との事業活動資金が通帳に保管されるようになりました。

今後、支部活動が活発に行うことが出来そうです。

私も退任後は副支部長として、会の発展に尽力をささげて参ります。（2024年7月26日記）

！！岩淵義昭前事務局長への御礼・

吉村猛彦信事務局長に期待する事！！

支部長 松木茂夫

総会・車椅子贈呈・学術講演会・懇親会等5年振り盛大に開催された、対面はベスト。

会創設時から事務局を担当していた岩淵義昭事務局長が勇退し吉村猛彦氏にバトンタッチ。

岩淵氏の英断と長年の労苦に感謝を申し上げ大賛辞を贈ります。今後はご健康にご留意され副支部長として大所高所からのご支援ご協力をお願い申し上げます。！！感謝感謝です！！

岩淵義昭氏にはこれからご指導を仰ぎたいと思っていた矢先に、誠に残念ながら2024年9月23日未明にご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

会報第38号は事務局長交替がありましたが何とか皆様にお届けですることが出来ました。皆さん方のご協力に感謝です。

吉村猛彦新事務局長は昭和60年卒でありまだ若手の部類です。今日まで幹事としてその役割を果たしてきて頂きましたが、これからは、事務局長としてその手腕を大いに発揮し、当白門会の要としての活躍を大いに期待しています。！！がんばれ頑張れ！！

！！事務局長へ就任して・岩淵前事務局長に感謝です！！

吉村猛彦（S60年卒）



吉村事務局長

前事務局長岩淵義昭様の突然の訃報に接して私は岩淵先輩の後任として2024年2月頃から事務局を引継ぎ 業務をさせて頂いてました。いつも心配してくださりその優しいお人柄に何度も励まされました。本当に残念です ご冥福をお祈り致します。合掌

2024年4月から、岩淵先輩の後を引き継いで事務局を担当している吉村です。偉大な先輩には到底及びませんが、一つ一つ業務を覚えて支部の発展に寄与して参りたいと思います。何卒、ご指導のほどよろしくお願ひします。

私の自己紹介をさせて頂きます。昭和37年11月生まれ、2歳まで品川区の下神明で育ちました、その後父が勤務している会社の社宅（川崎市川崎区昭和）へ引っ越ししました。当時、社宅の廻りには海苔を簾に干している風景を見ることができました。また、社宅の隣が町工場でしたので、日中は金属を叩く「カーンカーン」という音が聞こえていたのを覚えてい

ます。幼稚園は大師公園近くの「さくら幼稚園」に通園していました。川崎には幼稚園の年中まで住んでいました。そのため私は川崎にノスタルジーがあります。その後、横浜市緑区、神奈川県綾瀬市、横浜市戸塚区と引っ越しを重ね、結婚後は現在の横浜市南区に30年以上住んでいます。仕事は大学卒業後、食品メーカー、地方銀行、船会社の子会社へ勤務、定年後の現在は横浜市内の地区センター副館長として市民サービスの向上と地域おこしの毎日を過ごしています。

休日は①ボーイスカウトの指導者として、子供たちとハイキングやキャンプに行き青少年達の育成につとめてます。②かなっば畑の会の一員として、神奈川県内の農地をお借りして年間50種類ほどの作物を作り地元の皆さんへ販売、私たちもリーズナブルな価格で採りたての農作物を購入させて頂いて楽しんでます。③ソロキャンプへ出掛けて、焚火を見ながら自分の時間を過ごす、このようなことをしています。最近では、親の介護や白門会の諸々で自分の時間が少なくなってますが、この楽しみを復活させたいと思っています。こんな私ですがどうぞ宜しくお願い致します。

役員・会員 ご紹介

顧問 千葉五郎（昭34年卒）

！！私のゴルフ人生！！



私は88歳になった。現在もゴルフを趣味とし続けており、まさに「人生の友」といえる。

銀行に勤務していた時代にゴルフクラブを握って以来、キャリアは優に50年を超えており、我ながら驚いている。ゴルフを通じて多くの方々と知り合い、生涯つき合える友人が増えたことは、私にとって財産でもある。

これまで幾つかのコースでメンバーとなりプレーをしたが、長竹カントリークラブ（神奈川県相模原市）が、現在でも通っておりホー

ムコースといえる。以前勤務していた三菱銀行時代には、職場の仲間や取引先の方と、また大学時代の友人や家族とも、国内外のコースで楽しくプレーをした。中でも印象深いのは、海外出張の折り、世界4大ゴルフ大会の一つ「全英オープン」の開催地のセントアンドリュースでプレーをしたことだ。荒地と砂の難関コースだったが、かなり良いスコアであがり、自分のゴルフに自信が持てるようになった。

その後、順調にゴルフの腕をあげ、公式ハンデも20を切ってから、長竹CCでの競技中心のゴルフ人生に変わった、月例の競技会などでも優勝し、50歳を過ぎてからハンデも8まであがり、晴れてシングルプレイヤーの仲間入りを果たした。60歳を超えてから、シニア選手権にも挑戦し入賞したことも印象深い。

いただいたトロフィーやカップは、今も自宅応接間に飾っている。

強く記憶に残っていることは、82歳のときに長竹CCの16番ホームで、人生初のホールインワンを達成したことだ。初めての経験だったので、親しい仲間と祝杯をあげたことを昨日のこのように覚えている。

近年、長竹CCでは、ハンデキャップ委員や新入会員向けのオリエンテーションを務めさせていただいた。クラブのモットーである、①過去の肩書は捨てる、②会員はみな平等、を浸透させることに努めた。長竹CCは何度もコース改良がされ、多くの雑誌などでも評価が高まってきた。全国の名門コースとして紹介されていることは大変喜ばしい限りだ。

会計監査 石渡光一（昭36年卒）

！！法曹界に生き抜く！！



昭和36年法学部卒、弁護士です。川崎市在住50年になりますが、川崎白門会はまだ7、8年の

新参者です。「かわさきと共に歩む」との肩書を見たとき、これは素晴らしい名称で、いける会だなと気に入りました。宜しく願い致します。

昭和42年に弁護士登録後、東京弁護士会常議員会議長、東京弁護士会連合会常務理事、法律扶助協会東京支部理事、本部理事、東京家庭裁判所調停委員等を務めてきました。

中大関係では、ずっと法曹会支部に所属し、平成11年に事務局長（幹

事長）平成13年に副幹事長（副支部長）、平成15年評議員、平成17年に法人監事、平成20年法人理事を務め、今は商議員です。平成27年から3年間学会会副会長を務め、今は学会会幹事です。

地域支部は会員の親睦は勿論ですが、地元社会との関りを持ち、貢献することが重視されます。川崎白門会は、川崎市と太いパイプで繋がっており、要職にある學員が多々おられ、車いすの贈呈をはじめ種々の活動をしており、感銘を受けました。

10年以上前になりますが、冠動脈の1本が根元でつまり、ステントを入れています。昨年は大腸がんで、内視鏡による大腸一部切除の手術も受けました。幸い結果は良く、先日の健康診断では、心電図は問題なし、肺はきれいで、血液検査では中性脂肪だけが枠を少し超えましたが、他は正常値で、医師からは、年齢に比べてとても若い、まだまだ活動できると激励されました。

我が家の菩提寺は世田谷区にあり、檀家総代を務めています。350年程前に作られた9体の木造の仏像があり、今順々に修理を進めており、それが完成すると国の重要文化財に指定される予定です。その時には盛大な祝賀法要を行う予定です。修理は1体2年ずつ全部完成まであと10年かかりますが、どうしてもそこまで頑張り、祝賀法要に参加したいと思っています。

間もなく90歳に手が届こうという老体ではありますが、あと10年元気で頑張り、川崎白門会の活動にも積極的に参加してゆきたいと思っています。

地域への貢献が更に進み、中央大学の名が益々広まり、且つ高く評価されてゆくことを強く望み、成果を見たいと思っています。宜しく願い致します。

役員・会員 ご紹介

会計監査 砂田慎治（昭44年卒）

！！日々の生活！！

元川崎市副市長



私は、富山県の高岡市で生まれ、高校卒業までそこで暮らし、大学在学中は東京都内で暮らし中央大学卒業と同時に、川崎市役所に入所し、川崎市民になりました。

川崎市には予備知識も無く、大学のゼミの教授に「川崎はこれから面白いよ」と言われて、試験を受けて合格して入所したのですが、当初は

2～3年で辞めようと思っていました。

しかし、配属されたのが災害対策部門で1971年に「生田緑地ローム斜面崩壊実験事故」、1974年には「多摩川狛江堤防決壊」や川崎区元木町を震源地とする「川崎直下地震」など、矢継ぎ早に事件が起こり、辞めるタイミングを逸してしまいました。

その後、議会对策や訴訟対応などを担当し、阿部市政誕生後、行財政改革の担当になり、補助金や民間企業参加型入札方式への見直しなどに取り組み、文化施策が貧弱で「工業と公害のまち、かわさき」と言われていたのを、豊富な文化資源を活用して、「映像のまち」「音楽のまち」「スポーツのまち」に変貌させ

るという課題にも取り組みました。さらに、「最幸のまち」をテーマに市民とともに、川崎市の発展につなげたいとの福田市政のスタートにも参加いたし協力することが出来ました。

先輩・同僚や地域の方々など多くの人に助けていただいて47年間という長い公務員生活を無事に終えて、あまりお役に立ててはいないのですが、現在は川崎市文化財団、川崎フロンターレの応援、「川崎市地域団体連絡会議」や「川崎の発展を考える会」の運営を手伝っております。

私生活では、身体のあちこちに気になる症状があり、頭脳も衰えを実感しており、負荷を考えながら日々過ごしています。

中央大学&学員会ニュース



定時協議委員会・定時学員会総会が5月18日駿河台キャンパスでオンライン併用で久野会長中心に開催された



大学史資料館 行動する知性



「法と正義」中央老化グラフィック

大学史常設展示室

多くの来館者でにぎわっています



新しくなった「川崎白門会支部」旗



！！白門りんごの会八戸うまいもの巡り大満喫の旅！！

2024年9月7日（土）・8日（日）の二日間、白門りんごの会（会長松木茂夫44会支部会長・川崎白門会支部支部長）参加者26名で「りんご収穫体験・地元交流会・八戸館鼻朝市・歴史（是川縄文館）・料亭金剛・八食センター勢登すし美味しいもの巡りツアー」を昨年に引き続き実施した。川崎白門会からは8名が参加（伊藤弘氏・中村淳子氏・増田隆ご家族様・山田信昭氏・吉村猛彦氏・松木茂夫）他支部との交流が出来た。

たわわに実った早生りんご「サンつがる」を収穫し、交流会では松尾和彦町長・竹原義人町議会議長はじめ町職員・地元生産者・南部白門会からも多数が参加、一年振りの再会に喜びもひとしおであった。

松尾町長・梅内りんご組合長根組合長の歓迎のご挨拶、松木会長挨拶の後、極壇農林課長の乾杯で交流会が開催された。生産者の手作り料理にりんごゴロゴロ特製カレーを賞味した（コロナ前に梅内りんご組合と中大工学部学食とのコラボにより、梅内のりんごをふんだんに使ったカレーを再現して頂いた。見た目も味も申し分なく大満足であった）

来年の再会を約束し、その後、三戸町のねこバスにて、サンサン産直市場・道の駅に立ち寄り、宿泊先シティパークホテル八戸まで送って頂いた。

夕食会は料亭金剛（中大H1年卒）にて、りんごの会特製料理と・八戸八仙の美味しいお酒（八戸酒造/杜氏の駒井氏中大卒）・八戸さくらの芸妓の三味線・踊り等大いに満喫し、有意義な交流会でした。

今回は地元で活躍している南部白門会の吉田富三夫会長・馬場貞己顧問・橋本博文副会長・大久保圭一幹事長・石橋裕彦事務局長他の皆様に大変お世話になりました。誌面をお借りして御礼申し上げます。また、吉村猛彦氏（S60年・川崎）・高畑国彦氏（H2年）にはお手伝い頂き感謝です。

翌朝午前6時三八五観光大型バスにてホテルを出発し、日本一と言われている館鼻岸壁朝市会場（毎

週日曜日夜明けから9時頃迄開催）到着・朝食の食べ歩き・ショッピングなどを堪能・2時間がアツという間に過ぎた。

八戸市埋蔵文化財センタ「是川縄文館」（国宝「合掌土偶」）ではガイドの説明を受け閲覧し、しばし縄文の美に浸ることが

出来た。その後八食センタ勢登鮎にて特製海鮮丼に舌鼓・海鮮物の土産ショップを楽しんだ。ウミネコ繁殖地で有名な蕪島・蕪島神社を参拝・葦毛先展望台にて太平洋を一望しながら美味しいソフトクリームを堪能。東北震災復興公園種差海岸経由八戸駅新幹線口にて三八五観光大型バスと別れ帰路に着いた。新幹線車中ではビールを飲みながら金剛特製弁当を食べ談笑しながら東京駅に向かった。

迷走台風10号に新幹線の計画運休あるのではないかとひやひやであったが取り越し苦労であった。今年の猛暑の影響でとても暑い二日間でありました。参加者のご協力により無事終了できました。感謝・感謝！！
記：松木茂夫



りんご農園・ねこバスをバックに
※りんご収穫時の写真・記事が地元紙デーリー東北新聞・さんのへ広報に即日掲載された

！！「都電荒川線の旅」レポート！！

記事作成 茂岡幹弥

去る10月13日、川崎白門会支部有志による日帰り都電荒川線の旅が行われました。

参加者は松木会長、安岡幹事長、森山さん、伊藤さん、そして私茂岡の総勢5人です。

都電荒川線は東京に残る唯一の都電で、三ノ輪橋～早稲田間（12.2km・30停留場）を運行、地域の身近な足として長年親しまれ、沿線には、桜やバラなど花の見どころや歴史・文化に触れられる名所旧跡、生活感あふれる昔ながらの商店街など多様で魅力あるスポットが満載です。

2017年に名称を「東京さくらトラム」に変え車両や外装も順次おしゃれな形状に変わってきています。さてこの企画をどこからスタートすべきかいろいろ調べましたら東京メトロの雑司ヶ谷駅と東京さくらトラ



鬼子母神の前で

ム鬼子母神前駅が隣接していましたので雑司ヶ谷駅からスタートすることにしました。

10月13日は晴れて風もなくとても穏やかな日和の中、駅から歩いて約5分の鬼子母神からお参りました。鬼子母神前駅の踏切を渡ると何やらお祭りの準備をする人たちがいました。覗いて見ますと10月16日から18日まで行われるお会式（おえしき）の準備でした。御会式（おえしき）はもともと日蓮聖人の忌日の法会で、毎年10月16日～18日に鬼子母神御会式を営み、江戸時代から伝わる年中行事として今も地域全体の人々が待ちわびる大祭となっているそうです。

100m程のケヤキ並木が参道となっていて当日は10月にしては蒸し暑いほどでしたが参道に入ると涼風が心地よく肌にあたります。参道を抜けて左側に折れると鬼子母神本堂が表れて来ます。鬱蒼とした木々の中に読経の聲が境内に響き渡り幽玄な雰囲気を出していました。境内には樹周8mも有る大銀杏の木も圧巻でした。

記念写真を撮りいよいよ東京サクラトラムに乗ります。東京さくらトラムは1両で運行している関係で満

員の状態です。出発の時の「チン」という音が昭和の時代を思い起こさせてくれます。

次に目指すのは「おばあさんの原宿」としてメディアにも度々取り上げられている

「巣鴨地蔵通り商店街」です。庚申塚という駅に降り立つと短いホーム内に甘味茶屋が有りましてお茶や和菓子、あんみつやアイスクリームを楽しめます。「巣鴨地蔵通り商店街」は明治時代に下谷から現在の巣鴨に移転した曹洞宗高岩寺の参道として栄えています。商店街は約800mの長さを誇り150店ほどのお店が軒を連ねています。古くからの老舗から若い人向けのおしゃれな店舗、飲食店、和食から洋食まで高齢の方だけでなく若い人やファミリー層にもとても楽しい商店街です。この日も大勢の人で賑わっていました。商店街の中央部に曹洞宗高岩寺は「巣鴨とげぬき地蔵」の別名として「刺を抜く、すなわち傷みを取り除く、病気を治す地蔵菩薩」という意味で多くの人々が訪れています。

こちらの商店街で約1時間を費やし最後の訪問地「飛鳥山公園」を目指します。庚申塚駅から乗って4番目の駅飛鳥山駅で降ります。この日の飛鳥山公園は休日ということもあってファミリー層の人たちが多く集まっていました。都内でも有数な大きな公園で約600本を誇る桜の名所です。この公園内に有る3つの博物館のうち、この度の新1万円札の顔となった「渋沢栄一資料館」を訪れました。やはり新1万円札ということでこの場所は外せません。あまり広くない館内ですが渋沢栄一の功績を辿る年表や写真を見ていくうちに引き込まれてあっという間に1時間が経過して「青淵文庫(せいえんぶんこ)」や「晩香廬(ばんこうろ)」などの渋沢栄一ゆかりの大正時代の近代建築（国の重要文化財）を見学してこの度の「都電荒川線の旅」は終了致しました。飛鳥山公園には他に王子製紙の発祥地として昭和25年に設立された「紙の博物館」や北区のことがなんでもわかる「北区飛鳥山博物館」が有り、一日中お安い費用で楽しめます。



渋沢栄一資料館の玄関で

さてこの日の締めくくりは王子駅近くの居酒屋にて途中で合流された森山さんを含めて懇親を深め大いに盛り上がり帰途につきました。

次回もこのような「大人の遠足」を企画したいと思いますので奮ってご参加下さい

！！箱根駅伝予選会 第6位 で通過:本戦出場権確保！！

！！皆なさんで応援しましょう！！

第101回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）



応援する川崎白門会・参加者少なくて残念！！

の予選会が10月19日（土）東京都立川市の陸上自衛隊立川駐屯地から国営昭和記念公園までのハーフマラソン

（21.0975km）のコースで行われた。43チーム500余名が上位10チームを目指して（来年1月2日・3日の本戦出場権を確保）午前9時35分に一斉スタートした、気温30度と猛暑の中各選手は汗だくになりながら力走し

た。予選会は各チームの上位10人の合計タイムで競う・本戦に出場出来るのは上位10校・残念ながら出場権を得られなかったチームの選手で巻頭学生連合チームが編成される。

※！！中央は本戦出場確定！！

1月2日（木）往路8時過ぎ頃から中央郵便局前の沿道にて応援（通過予想時間8：53頃）。1月3日（金）復路は11時30分頃から稲毛神社の沿道にて応援（通過予想時間13時18分頃）終了後近くの居酒屋でテレビ観戦しながら新年会開催予定）

101回予選会通過順位

- 第1位 立大
- 第2位 専大
- 第3位 山梨学大
- 第4位 日体大
- 第5位 中央学院大
- 第6位 中大**
- 第7位 日大
- 第8位 東京国際大
- 第9位 神奈川大
- 第10位 順大

！！川崎港巡視船による海上視察に参加して！！

8月20日（火）午後、前日深夜の雷雨もなんのその、雲一つない好天となり、30度を超える猛暑日ではありましたが、特別参加の厚木白門会平野幹事長様も含め参加者9名で、支部恒例の“川崎をより深く知る活動”の一環である「川崎港巡視船による海上見学」が実施され、参加いたしました。

川崎市港湾局が所有する巡視船「あおぞら号」（定員50名）に乗船、千鳥町の棧橋から出港し、千鳥町、水江町、扇町、大川町、扇島、東扇島、浮島町、羽田空港D滑走路を約90分かけて巡り、みなとみらい、房総半島や東京湾の入口である浦賀水道までくっきりと見える景色を船内から楽しむとともに、川崎港について学びました。

当日は川崎市職員OBの方に案内員として添乗いただき、川崎港の概要、海の信号機、着岸している船舶や倉庫群、東京湾アクアラインに付帯する設備、日本最長の川崎港海底トンネルなどについて、クイズを交えながらの説明や、将来構想など興味深い話も伺うことができました。港湾情勢は川崎市を知るための大き

な要素で、お子さん、お孫さんなどの自由研究には格好の材料になると思えました。是非とも活用されてはいかがでしょうか。

下船後は、京急川崎駅近くの飲食店にて、参加者全員で水分補給と情報交換など親睦を図り、喉を潤したところで解散し、帰路につきました。役員の皆様、有難うございました。：向坂光浩（昭60年卒）

■ 編集後記

9月23日に岩淵副支部長（前事務局長）が逝去されました。後を引き継いでしっかりと仕事をこなして支部の発展に貢献して参りたいと思います。役員の皆様への連絡を郵便からメールへ変更しました。郵便代の節約だけでなく、「調整さん」を使うことで返信の速さもアップしたと思料します。引き続きご指導よろしくお願いたします。

尚、紙面を充実させたいと考えています、皆様方のお知恵をお是非借りたいのでご協力よろしくお願いたします。（事務局長吉村猛彦）

中央大学「川崎白門会支部 かわさきと共に歩む川崎白門会」を支援します（卒年順に掲載）

<p>協親自動車（株）顧問 川崎市高津区北見方3-8-5 松木 茂夫（昭和44年卒） 中央大学評議員・学会会幹事</p>	<p>城南予備校 （川崎区駅前本町22-2） 代表取締役 下村 勝己 （昭和52年卒）</p>	<p>株式会社TRAアート 代表取締役茂岡幹弥 （昭和53年卒） 東京都中央区新川2-7-15林ビル4F</p>
<p>田賀法律事務所 所長弁護士小林喜浩 （昭和59年卒） 東京都中央区銀座7-2-22 コリドースクエア銀座7丁目</p>	<p>道しるべ法律事務所 弁護士矢口統一（平成7年卒） 川崎市川崎区砂子1-5-1KJ砂子ビル4階 TEL044-211-1115/moto.yaguchi@gmail.com</p>	<p>行政書士 志水法律事務所 外国人雇用・ビザのことなら 志水 晋介（平成11年卒） 080-7023-0485</p>